

甲 寿 園 だ よ り

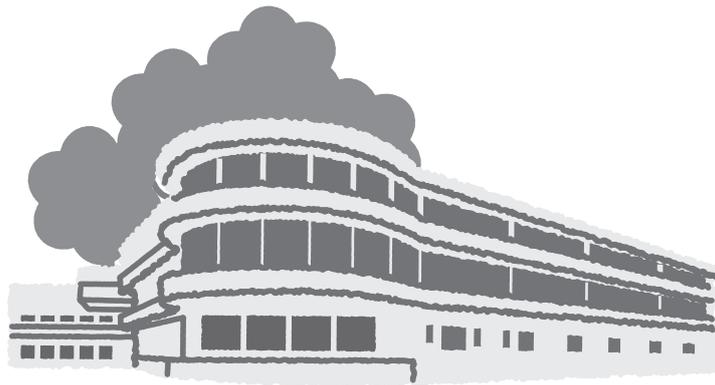
平成26年度年報

平成26年度事業報告
平成27年度事業計画

TO LIVE IS BEAUTIFUL!!

が、
として
とともに
豊かに
生きる





平成26年度年報

平成26年度事業報告
平成27年度事業計画



目次

平成 26 年度年報発刊にあたって 園長 狭間 孝	3
法人理念	4
平成 26 年度 事業報告 (法人本部)	6
平成 26 年度 事業報告 (高齢者福祉施設事業報告)	12
平成 26 年度 事業報告 (甲寿園)	13
決算報告	18
予算概要	19
利用者の状況	20
甲寿園歳時記	22
各フロアのまとめ	
南館 2 階	24
南館 3 階	24
北館 2 階	25
北館 3 階	26
ケアプラン室	27
栄養室	28
看護課	30
リハビリテーション・作業療法室より	31
平成 26 年度リハビリテーション室まとめ	31
在宅福祉関係の事業報告	
居宅介護支援事業	33
短期入所生活介護事業	33
通所介護事業 デイサービス	34
委員会のまとめ	
感染対策委員会	35
身体拘束廃止委員会	38
安全衛生委員会	39
防災委員会	40
PC 委員会	41
リスクマネジメント委員会	42
排泄委員会 まとめ	43
研修委員会	44
ボランティア・クラブ活動の状況	45
職員の研修状況	48
実習生の受け入れ状況	49
苦情相談受付及び解決状況の結果報告	50
永年勤続・ボランティア活動表彰	51
寄贈一覧	52
職員の状況	53
写真で振り返る甲寿園の 1 年	54
平成 27 年度事業計画 (法人本部)	60
平成 27 年度事業計画 (高齢者福祉施設事業)	63
平成 27 年度事業計画 (甲寿園)	64
甲寿園の沿革	73
実践研究発表	76

人と人をつなぐ

法人常務理事・園長
狭間 孝



平成26年度は、北館3階（トイレ、デイルーム、援助員室）の改修工事を行い、平成4年に竣工しました北館は1階から3階まで、懸案事項であった環境整備を行うことができました。南館3階では、特殊浴槽が故障し、新しい特殊浴槽を購入しました。南館1階では、デイサービスセンター、あいあいホール、廊下、事務室、相談室、玄関をLED照明に切り替え、全灯させても節電となる明るい環境となりました。LED照明に切り替える工事は、次年度以降、フロアでの転換工事を行って参ります。今後も、入居者、利用者の皆様が居心地よく過ごしていただけるように改修を短期・長期計画の中で行って参ります。

さて、平成26年は、どのような年であったのだろうか。歓喜と希望に湧いた「STAP細胞」問題が1月、しかし4月には論文に不正があったと認定されました。研究者の実験ノート、記録が問われた事件であったと思います。フィギュアスケート男子では、羽生結弦選手が日本人初の金メダルを獲得、浅田真央選手のあきらめない強い気持ちがかもった演技、そして、若い選手とレジェンドが活躍し感動を頂きました。

桜咲く春は、消費税8%に17年ぶりに引き上げられ、集団的自衛権行使に向けた憲法解釈変更を来日されたオバマアメリカ合衆国大統領は歓迎と支持を表明致しました。梅雨の時期は、都議会で女性蔑視のヤジがあり、兵庫では、世界中に配信された元兵庫県会議員の号泣があり、議員の資質問題がクローズアップされました。災害は、いつ起こるか分かりませんが、知識として過去の出来事から学ぶ大切さを痛感しました。8月、局地的な豪雨により土砂崩れや土石流が発生し、74名の尊い命が奪われました。9月、御嶽山噴火により、57名が死亡、行方不明者はまだ見つからず、戦後最悪の火山災害となりました。

東日本大震災から4年が経過し、8万人以上の被災者が未だプレハブ仮設住宅で暮らされています。災害列島に住む私たちは、ある日突然、被災者となります。甲寿園は、要援護者の福祉避難所としての役割を担い、また、立地している鷺林寺町の災害避難所となっています。地域の皆様に支えられ、また、地域を支える施設となっています。5月に開催された春フェスタは、地域のケアマネジャー、自治会、民生委員・児童委員、住民のお祭りとなりました。高齢社会の中で助け合う中心になることが施設の使命でもあります。全米テニスでは、錦織圭選手が準優勝という活躍に日本中が沸き、10月、世界中の照明を変えた青色発光ダイオード（LED）を開発した日本人（赤崎、天野、中村教授）3氏にノーベル物理学賞受賞に誇らしく思いました。そして、今年1年間の世相を表す「今年の漢字」が12月12日、清水寺の森清範貫主の揮毫で「税」と発表されました。2位は「熱」、3位は「嘘」4位以降は「災」「雪」「噴」「偽」「妖」……。歌は世につれ世は歌につれ、果たして歌は世相を表したでしょうか。今年のレコード大賞は、「R.Y.U.S.E.I. / 三代目 J Soul Brothers from TRIBE」ということになりました。流行語では、「ダメよ～ダメダメ」「集団的自衛権」「ありのまま」「ごきげんよう」「壁ドン」「レジェンド」等。様々な出来事がありましたが、100年単位で見ると、大正3年、第1次世界大戦勃発、200年前は、文化11年、江戸時代に遡ってしまいましたが、歴史は大きく変化し、現代は、民主主義の時代となっています。時代は、人と人をつなぎあう中で進んでいます。甲寿園は、44年の歴史を積み重ねてきました。市民の皆様に支えて頂き、また、職員が真摯に高齢者に向き合い、健康管理と介護サービスを提供しています。事業計画に沿った取り組みをまとめ、事業報告集として社会に公表することにより、地域社会からの評価を得ることができ、更なる向上をめざし目標を高めることができると思います。私たちの仕事は、人と人をつなぎやりがいのある楽しい介護労働だと考えています。そのような介護現場で働く若者が増えることを願い、皆様に平成26年度年報をお届けいたします。皆様に感謝！

理 念

Philosophy

人が、
として
とともに **豊かに生きる**

We live and enhance life together as human beings

基本方針

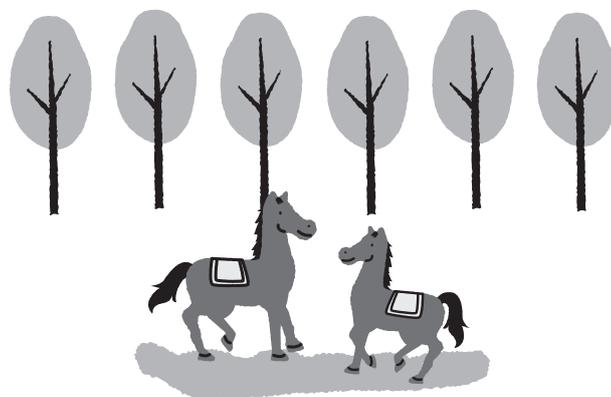
- 1 わたくし達は人との出会いを大切にします
- 2 わたくし達は思いやりと謙虚な気持ちを大切にします
- 3 わたくし達は個人を尊重し心優しい援助に努めます
- 4 わたくし達は社会福祉に貢献できるよう資質の向上に努めます
- 5 わたくし達は地域との信頼を深め開かれた施設運営に努めます

Policy

- 1 We treasure our encounters with each other.
- 2 We cherish sympathy, charity and humility.
- 3 We respect individuals and support them tenderly.
- 4 We develop qualities to contribute to the welfare of society.
- 5 We deepen mutual trust with local communities.

平成26年度

事業報告





平成26年度 事業報告

法人本部

はじめに

厚生労働省社会保障審議会福祉部会報告書が平成27年2月12日にとりまとめられ、その中において社会福祉法人制度改革について、その中では、①経営組織の在り方の見直し、②運営の透明性の確保、③適性かつ公正な支出管理、④地域における公益的な取組の責務、⑤内部留保の明確化と福祉サービスへの再投下について提言されています。今後社会福祉法人はこのような動向を踏まえた法人改革が求められることとなります。

法人は平成26年度に7つの専門部会を設置し法人内事業における横断的な取組みへ着手しました。平成26年度は現状の確認と課題等の抽出を行いました。平成27年度にはこの取組みを更に進めていきます。

安井さくら保育園の改築は、平成26年7月に西宮市が公募した計画に応募し平成26年9月に整備法人としての決定通知を受けました。平成28年4月開園を実現するためには、大変窮屈なスケジュールでの改築計画でしたが、平成27年3月に本園舎建築工事請負業者を決定することが出来ました。

各施設における事業はほぼ昨年度と同等の実績を上げることが出来ました。

人材確保においては職員採用試験において、昨年と同程度の人数を確保することができました。職員処遇においては賞与で夏期・冬期合わせて4.42カ月プラス25,000円支給しました。

施設建物の修繕等は、甲山地区の駐車場改修工事、甲寿園のフロア改修工事、にしのみや苑の増床等改修工事、西宮すなご医療福祉センターの病棟浴室廻り改修工事等を行いました。

1. 事業計画

1) 各事業の安定的経営と事業拡大

- (ア) 各事業所の数値目標を明確にして利用者増に取り組み、収入を確保します。
- (イ) 支出は各事業所とも経費節減に努めます。
- (ウ) 会計の一元化にもとづく各事業所の経営分析を行います。

⇒月2回開催している経営協議会において各事業の利用者集計及び収支推移表を作成し現状確認を行い、利用者増に向けて取り組んでいます。

平成26年度 決算「収入」

	全体	すなご	甲寿園	北山	にしのみや苑	芦原	安井	総合相談
収入	4,426,130,121	2,469,398,435	855,542,013	127,284,127	366,951,911	213,089,207	277,188,935	107,465,246
平成25年度	4,323,525,881	2,424,678,336	837,115,262	125,457,188	371,577,696	203,036,599	253,739,698	96,134,637
差	102,604,240	44,720,099	18,426,751	1,826,939	▲4,625,785	10,052,608	23,449,237	11,330,609
率	102%	102%	102%	101%	99%	105%	109%	112%

(全体の数字は法人本部を含めています)

⇒平成26年度法人全体の収入は4,426,130,121円となりました。昨年度との対比では102%となっています。

平成26年度 決算「支出」

	全体	すなご	甲寿園	北山	にしのみや苑	芦原	安井	総合相談
人件費支出	3,143,742,240	1,776,010,396	554,123,367	97,845,416	244,242,624	149,995,400	184,445,596	85,158,663
事業費支出	581,350,528	284,965,470	152,195,393	15,071,308	63,310,762	30,533,321	28,169,541	3,271,570
事務費支出	388,991,499	161,449,156	76,291,194	9,636,997	39,305,138	20,979,296	40,130,955	13,176,929
合計	4,272,827,211	2,289,061,283	827,358,717	124,832,655	355,422,412	205,520,618	277,578,322	107,068,287
	71%	72%	65%	77%	67%	70%	66%	79%

(全体の数字は法人本部を含めています。合計の数字には人件費・事業費・事務費以外の支出が含まれています)

⇒平成26年度法人全体の支出は4,272,827,211円となりました。昨年度との対比では99%となっています。

収入に対する人件費比率は71%となっています。

平成 25 年度 決算<支出>

	全体	すなご	甲寿園	北山	にしのみや苑	芦原	安井	総合相談
人件費支出	3,219,522,651	1,852,672,681	581,034,494	95,494,437	253,429,617	137,582,789	170,973,774	88,539,095
事業費支出	574,104,055	280,486,979	145,778,732	18,248,139	59,757,247	28,239,914	34,743,811	3,147,831
事務費支出	365,252,898	166,710,047	71,042,146	9,986,573	37,616,941	19,314,304	37,614,488	10,555,801
合計	4,301,010,774	2,362,476,434	843,195,966	125,866,331	359,860,550	189,230,628	254,549,387	107,455,658
	74%	76%	69%	76%	68%	68%	67%	92%

⇒平成 25 年度の人件費には新会計基準に移行する年度ということで、賞与引当金額が含まれているため、全体として人件費の割合が高くなっています。

(エ) 安井保育園の分園である安井さくら保育園は本園化を目指して西宮市と協議を進めます。

⇒平成 26 年 7 月 9 日付けで西宮市より公募されました新設保育所整備法人の募集に応募し、

平成 26 年 9 月 16 日に西宮市より整備法人として決定通知を受けました。

仮設園舎工事は、4 社による見積合わせを行い 63,500,000 円（消費税抜き）で大喜建設（株）と契約を結びました。11 月 4 日に着工し 4 月 30 日竣工予定です。

本園舎建築工事については、2 月に公募型指名競争入札の公告を提示し、10 社が入札に参加されました。

3 月 11 日に入札を執り行い、（株）林建設が 331,000,000 円（消費税抜き）で落札し、3 月 24 日に請負契約を結びました。

本園舎建築工事は 5 月上旬より現園舎の解体工事に取り掛かり、平成 28 年 2 月 29 日竣工予定で計画を進めています。

(オ) 障害福祉分野、高齢福祉分野、保育分野において、西宮市が福祉サービス向上のため計画する事業には参加を検討します。

⇒新たな計画には着手していません。

2) 事務局の役割の強化

事業計画推進のため事務局機能を強化し、次のことに重点を置き引き続き取り組みます。

(ア) 経理事務の統括と経営分析による資料を作成します。

法人全体の積立金の位置付けを明確化し事業推進計画を作成します。

⇒法人全体、各施設の積立金の推移表を作成し、次年度以降に財務計画を作成する準備を進めました。

(イ) ホームページを充実させ、財務諸表の公開等さらに情報公開を進めます。

⇒財務諸表の公開を行いました。

(ウ) パンフレット等を充実させ事業の広報を進めます。

⇒パンフレットを更新しました。

(エ) 法人規程集の整備を進めます。

⇒法人規程集の総合的な点検を弁護士に依頼し作業を進めました。

平成 27 年度中に改定作業を完了させる予定で進めています。

(オ) 法人内における福利厚生制度の調整と統一を進めます。

⇒経営協議会において協議し調整しています。

3) 経営・運営会議の開催

(ア) 常勤役員会を定期的に開催し法人全体の事業運営の諸課題について協議します。

⇒週 1 回木曜日の定例会議を軸として開催しています。

上半期は 23 回、下半期は 22 回開催しました。

理事会は 9 回、評議員会は 6 回開催しました。

(イ) 経営協議会を月 2 回以上開催し、日常の運営上の諸課題について協議します。

⇒第 1 金曜日と第 3 火曜日の定例会議を軸として開催しています。

上半期は 12 回、下半期は 10 回開催しました。

- (ウ) 専門部会（事務担当部会、栄養・給食担当部会、研修担当部会、広報活動部会、危機管理・防災対策部会、ボランティア支援部会、地域貢献活動支援部会）、事業種別連絡協議会、甲山地区施設連絡協議会、介護職員初任者研修運営委員会を設け会議を定期開催し、各種事業の交流・情報交換を行い、課題の解決に向けて分析、検討、提案を行います。

⇒各会議の開催状況は下記のとおりです。

事務担当部会	年 5 回開催しました。決算(案)や予算(案)作成における調整を行うとともに、決算・予算の状況の確認を行いました。積立金等も状況確認し明確化しました。
栄養・給食担当部会	年 3 回開催しました。各施設の現状を把握し課題等を抽出してきました。平成 27 年度に向けて部会としての基本方針を策定しました。
広報活動部会	年 3 回開催しました。各施設の現状の把握(ホームページや機関紙等)するとともに、平成 27 年度に向けた方針を策定しました。
危機管理・防災対策部会	年 5 回開催しました。図上訓練を実施しました。BCP（事業継続計画）を作成するためのたたき台を作成しました。
ボランティア支援部会	年 4 回開催しました。法人内のボランティアの状況確認と情報交換を行いました。
地域貢献活動支援部会	年 5 回開催しました。他の法人の地域貢献活動事例などを学ぶとともに、この地域におけるニーズ等について協議しました。
研修担当部会	年 11 回開催しました。施設間職員交換研修。新入職員フォローアップ研修。法人職員合同実践研究発表会。法人職員全体研修。役職者研修。新年度新任職員研修。

4) 監事監査・内部監査・第三者評価

- (ア) 中間監事監査を 11 月、決算監事監査を 5 月に行い、事業及び財務状況の点検、監査、及査及び指導を受け、法人事業の経営改善を行い健全な運営を行います。

⇒中間監事監査は平成 26 年 11 月 19 日(水)に総合相談支援センター、甲寿園、法人事務局で実施しました。

- (イ) 適正な運営と職員間の相互牽制のため、全事業の内部監査を実施します。

⇒内部監査は平成 27 年 1 月 27 日(火)に安井保育園、芦原デイサービスセンター、西宮すなご医療福祉センターで実施しました。
1 月 29 日(木)には北山学園、にしのみや苑で実施しました。

- (ウ) 第三者評価の未実施事業所は実施する準備を進めます。

⇒第三者評価事業については今年度受審した事業所はありません。

- (エ) 合同苦情解決委員会を年 1 回(2 月)開催します。

⇒平成 27 年 2 月 20 日(金)に西宮すなご医療福祉センター会議室において午後 2 時から午後 4 時、平成 26 年度合同苦情解決委員会を開催しました。苦情解決第三者委員の皆さんが出席され、法人全体で 35 件の報告が行われました。

5) 人材確保

- (ア) 採用、研修、異動など職員の人事管理の一元化を進めます。

⇒平成 26 年度職員採用状況新卒対象の職員採用試験を 3 回、登用試験を 2 回実施しました。

・職員採用試験(平成 27 年度採用) 3 回(受験者 25 名、採用 19 名)

指導員	3 名	介護福祉士	1 名	保育士	6 名
援助員	7 名	管理栄養士	1 名	作業療法士	1 名

・職員登用試験 2回(受験者11名、登用11名)

援助員	4名	社会福祉士	1名	介護福祉士	1名
指導員	1名	保育士	2名	管理栄養士	1名
看護助手	1名				

(イ) 新規卒業者の人材の確保のために、大学、専門学校訪問等を行います。

兵庫県社会福祉協議会が主催する就職フェアに参加します。

人材育成・確保に関して提携社会福祉法人として日本福祉大学と共同していきます。

⇒平成26年7月6日、「平成26年度第1回福祉の就職フェアin HYOGO」に参加しました。

フェアの参加者は全体で650名、法人のブース来場者は48名でした。

平成27年3月5日、「平成26年度第2回福祉の就職フェアin HYOGO」に参加しました。

フェアの参加者は全体で471名、法人のブース来場者は31名でした。

平成26年9月よりリクナビにて甲山福祉センターの求人内容を掲載しました。

日本福祉大学の総合支援型実習は5名を受入れました。

大学訪問は15校訪問しました。

6) 人材育成、職員研修

(ア) 研修体制の充実を図り、人材の育成を進めます。

⇒法人研修部会を定期的に開催し、研修の充実を図っています。

今年度は法人合同研修として日本福祉大学の江口昇勇氏に「福祉施設職員のこころの健康」をテーマに研修を2回実施しました。2回合計で154名の職員が参加しました。

・施設間交換研修は23名が参加しました。

・人材育成の面では正規職員に「人事調書」と「希望調書」の提出を求め、今後の人事管理面での資料のデータベース化に着手しました。

・役職者を対象としたヒアリングを実施しました。

役職者研修は、副主任から副課長を対象とした研修会を実施しました。

(イ) 関係機関が主催する役員対象の研修会への参加を進めるとともに、幹部の養成のための研修会への参加を進めます。

⇒平成27年2月28日、3月1日に開催された日本福祉大学第8回提携社会福祉法人サミットに4名が参加しました。今回のテーマは「社会福祉法人制度の転換期における社会福祉法人の役割」でした。

(ウ) 第14回法人職員合同実践研究発表会を開催し、職員の研究・研修の充実を図り交流を進めます。

⇒平成26年11月16日(日)に第14回法人職員合同実践研究発表会を開催しました。

演題は9題発表されました。参加職員数は140名でした。

(エ) 職員研修・勉強会を開催し、業務上必要な各種の資格取得を奨励します。

⇒全国社会福祉法人経営者協議会や全国社会福祉協議会、兵庫県社会福祉協議会が主催する研修会への参加を進めています。

・職員研修は各施設で実施しています。資格取得手当を支給し資格取得を奨励しています。

7) 防災対策

(ア) 災害発生時に対応できるように各施設の特長に応じた災害対策マニュアルの整備を進めます。

⇒専門部会として危機管理・防災対策部会を設け法人全体としての危機管理・防災対策について協議しています。9月22日には西宮すなご医療福祉センターをモデルにして、地震と津波を想定した図上訓練を行いました。

日本福祉大学提携社会福祉法人である、社会福祉法人天竜厚生会、仙台市社会事業協会と「災害時連携協定」に基づき、災害を想定した模擬連携訓練を実施しました。

(イ) 災害発生時には各施設の利用者のみならず地域住民の支援に協力できるように、備蓄物品の整備等、体制整備を進めます。

⇒各施設において順次整備を進めています。

(ウ) 各施設及び法人全体として事業継続計画の作成を進めます。

⇒危機管理・防災対策部会を中心として整備を進めてきています。

8) 中・長期計画、地域貢献活動

(ア) 平成 24 年 5 月に提言を受けた中・長期計画に基づき、実施状況の点検を行うとともに、各施設において方針の具体化を進めます。

⇒中・長期計画に基づき状況の確認を行いました。特別養護老人ホーム等の整備は進んでいません。

安井さくら保育園の建て替えについては大きな進展がありました。

その他、地域支援関係や相談体制関係については進行中のものや、着手できていないものがあります。

(イ) 介護職員初任者研修課程を実施します。

⇒介護職員初任者研修運営委員会において準備を進め、11 月に開講し、10 名が受講し、9 名が修了しました。

(ウ) 社会福祉事業の啓発活動やボランティアの育成活動などを各施設と連携して行うとともに、新たな地域貢献事業に着手するため、専門部会等でニーズ把握を行うなど検討を始めます。

⇒地域貢献活動支援部会において協議を進めました。

9) その他

(ア) 職員の給与

①職員給与は、定期昇給を実施しました。
②賞与は、年間 4.42 カ月 + 25,000 円を支給しました。 夏期 2.05 カ月 + 10,000 円 冬期 2.37 カ月 + 15,000 円
③嘱託職員の賞与は、夏期は日給の 23 日分 + 10,000 円、 冬期は 22 日分 + 契約期間加算 + 15,000 円を支給しました。
④その他、事業所ごとに嘱託職員の日給の改善、 パート職員の時間給の改善を行いました。

(イ) 労働環境の改善をすすめ、職員の健康管理の課題に引き続き取り組みます。

メンタルヘルス対策を法人全体の課題として検討を進めます。

⇒日本福祉大学の江口昇勇氏を講師に招いて「福祉施設職員のこころの健康」というテーマで研修を実施しました。

(ウ) 永年勤続表彰(10年、20年、30年、40年)を行います。

⇒永年勤続表彰は平成 26 年 11 月 16 日(日)に行いました。今年度の表彰者は 24 名で、勤続 10 年表彰者が 17 名、勤続 20 年表彰者が 3 名、勤続 30 年表彰者が 3 名、勤続 40 年表彰者が 1 名でした。

(エ) 甲山地区の駐車場の整備を進めます。

⇒緑化駐車場の改修工事は 10 月より着工し 11 月上旬に完了しました。

2. 職員の状況 (平成 27 年 3 月 31 日現在 総計 714 名)

職 種	在職職員数				
	正規	嘱託	パート	合計	
医 師	5	6		11(27)名	* () 内は平成 26 年 3 月 31 日現在
看 護 職	113	4	27	144(142)名	*看護職 (看護師、准看護師)
医 療 職	35	1	10	46(47)名	*医療職 (理学療法士、作業療法士、 言語 聴覚士、薬剤師、栄養士、臨床検 査技師、放射線技師、心理士等)
福祉介護職	236	60	103	399(392)名	*福祉介護職 (指導員、援助員、介護福祉士、 保育士、療育員、ヘルパー等)
福祉相談職	22	5	1	28(28)名	
事 務 職	32	3	4	39(41)名	*福祉相談職 (介護支援専門員、相談員、 ケースワーカー等)
そ の 他	15	14	18	47(56)名	
合 計	458	93	163	714(733)名	*事務職 (事務員、施設長等)

施設別職員数	正規	嘱託	パート	合計
西宮すなご医療福祉センター	271	22	45	338 (357) 名
甲寿園	86	19	37	142 (139) 名
北山学園	17	1	9	27 (27) 名
にしのみや苑	30	15	17	62 (64) 名
芦原デイサービスセンター	12	18	13	43 (42) 名
安井保育園	14	9	14	37 (36) 名
安井さくら保育園	7	2	4	13 (15) 名
夙川さくらんぼ保育園	3	3	4	10 (10) 名
総合相談支援センター	12	4	19	35 (36) 名
法人事務局	6	0	1	7 (7) 名
合 計	458	93	163	714 (733) 名

障害者雇用の状況 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

	正 規	嘱 託	パート	計
身 体 障 害	4	1	1	6(5)名
知 的 障 害	0	0	4	4(3)名
精 神 障 害	0	1	2	3(3)名
計	4	2	7	13(11)名